

# 磁束密度波形制御装置

Rcon® Series

高速な波形制御を FPGA により実現

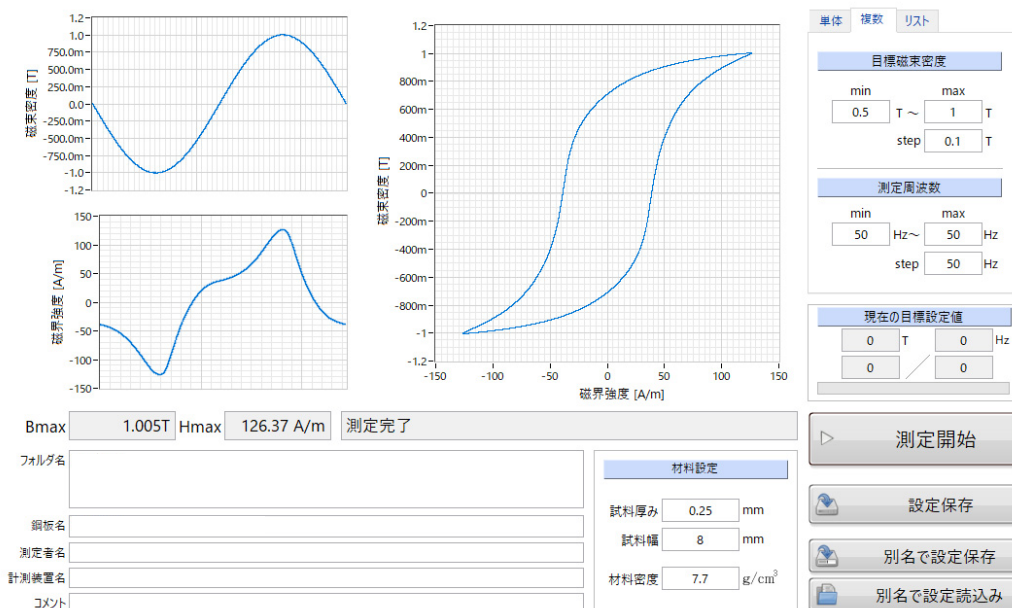
正確な評価には磁束密度波形の制御が大切です。



磁束密度波形制御装置  
Bcon-01

モータの設計に必要な軟磁性材料の電磁鋼板の磁気特性はリング試料やエプスタイン試験枠や単板磁気試験枠で測定しますが、複数の試料の測定に励磁条件を同一にして測定することが重要となり、この磁束密度波形制御装置を使用することで磁束密度波形を正弦波に制御することができます。

## 磁気特性測定のための波形制御

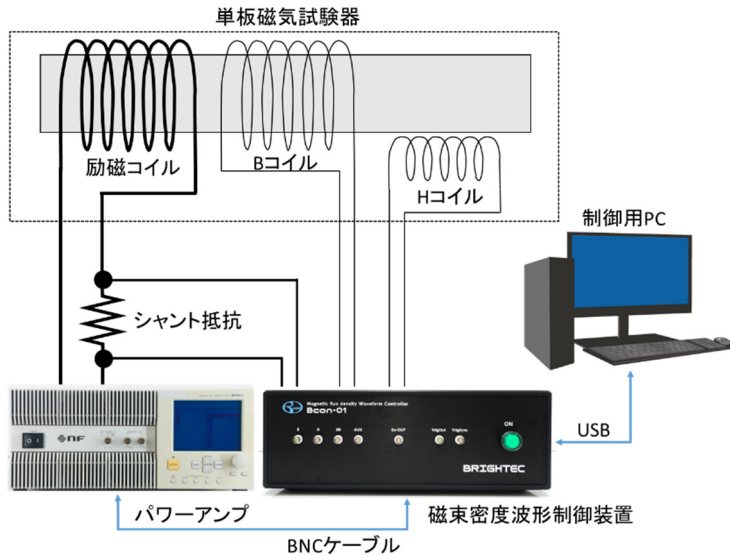


磁束密度波形制御装置 GUI 画面例(オプションでご要望に対応いたします。)

波形制御に FPGA (field-programmable gate array) を採用し高速な測定を実現しました。

- ・ 測定時間はソフトウェア制御に比較して 1/50 以下に短時間で測定できます。※当社比
- ・ 測定周波数は 50Hz~1kHz
- ・ 入力は B コイル、H コイル、シャント抵抗の接続を考慮しています。また、補助入力に 1CH あり、同期して測定したい信号を入力できます。
- ・ 制御波形(正弦波)の歪み率、振幅率は任意に設定ができます。

## 接続例



磁束密度波形制御装置に単板試験器を接続した例です。

Bコイル、Hコイル法であればHコイルを、励磁電流法であればシャント抵抗を接続し、後は励磁用電源を接続します。

制御用PCはUSB接続となります。励磁用電源は単板試験器の励磁条件により異なりますのでオプションとなります。

## 仕様・価格

項目	仕様	備考
名称	Bcon	磁束密度波形制御装置
測定周波数	50Hz～1kHz	
A/Dコンバータ分解能	16bit	
サンプリング数	8192点/50Hz 512点/1kHz	
波形制御	歪み率・振幅率・位相	
入力 (4CH)	B: Bコイル H: Hコイル SH: シャント抵抗 AUX: 補助入力	内蔵のプリアンプにより適切なゲインに自動切替 1倍・10倍・100倍・1000倍・10000倍 入力インピーダンス: 1MΩ
出力 (1CH)	EX-OUT: 励磁信号	出力電圧は適切な電圧範囲に自動切替 ±10mV・±100mV・±1V・±10V
トリガ	TrigOUT: 収束完了出力 TrigSync: 同期信号出力	
寸法	H149xW430xD450	
電源電圧	AC100V±10% 50/60Hz	

名称	型式	標準価格(税抜き)
磁束密度制御装置	Bcon-01	4,000,000円

(株)ブライテック

技術開発部 相原 E-mail:shigeru\_aihara@btec-net.co.jp

〒870-0107 大分市大字海原 739 番地 3 TEL(097)574-7899 FAX(097)574-7830